

平成 19 年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [ 事例問題 1 ]

問 1 起案

- 1 . 被告製品の構成の特定及び本件特許権との対比
- 2 . 特許権者等の権利行使の制限（特許法第 104 条の 3）の主張

問 2 小問

- （ 1 ）債務不履行（履行遅滞）、相当の期間を定めた催告、契約の解除（解約）  
民法第 541 条（民法第 620 条）
- （ 2 ）不法行為による損害賠償請求、民法第 709 条  
なお、仮処分の効果を失わせる手段として事情の変更による保全取消しの申立てについては、加点の対象とする。